

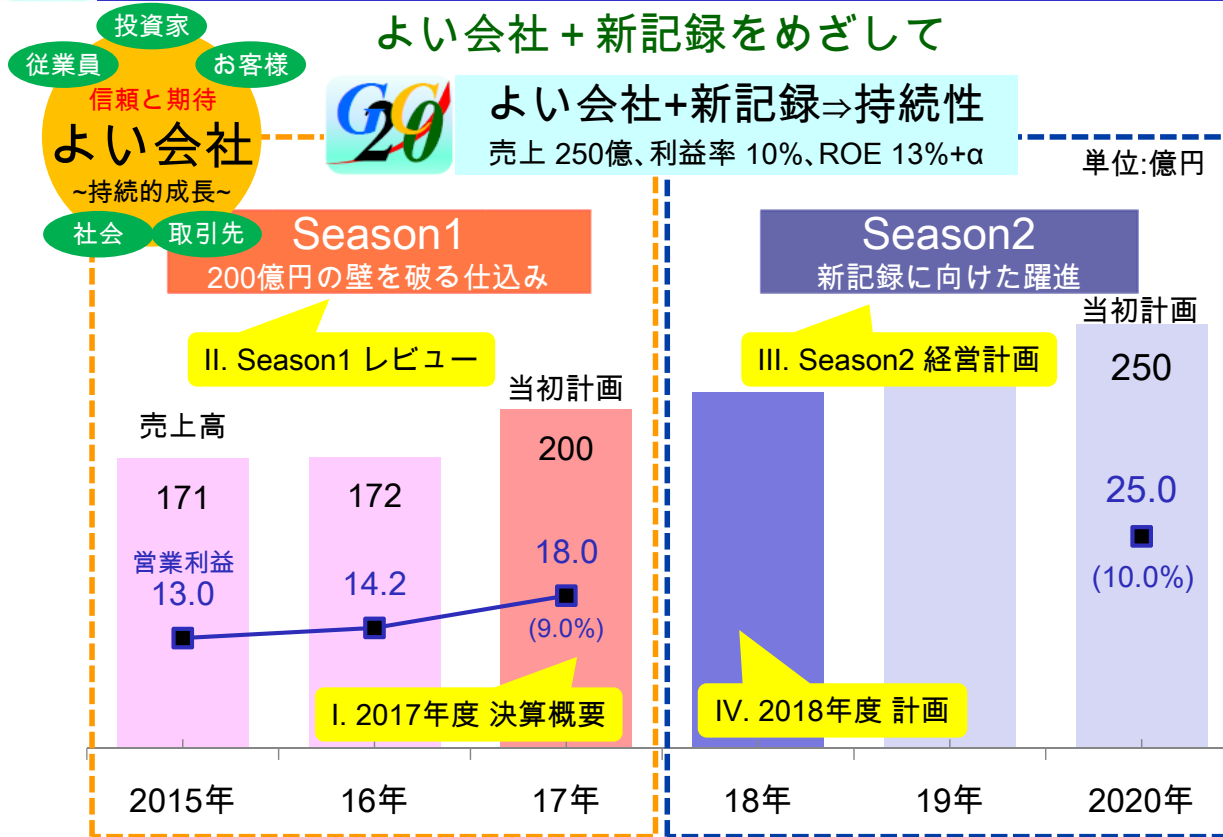
2017年度 決算のご説明

(2017年4月1日～2018年3月31日)

- I. 2017年度 決算概要
- II. Season1 レビュー
- III. Season2 経営計画
- IV. 2018年度 計画

2018年5月10日
 本多通信工業株式会社
 代表取締役社長 佐谷 紳一郎

中期計画“GC20”と本日のご説明内容





I. 2017年度 決算概要

中期計画“GC20”をほぼ計画通りで折り返し

Value by Connecting **HTK**



1-1. 通期業績

純利益:2年連続で記録更新、配当:過去最高で9期連続増配
中期計画“GC20”をほぼ計画通りで折り返し

★ = 過去最高 ☆ = 今世紀最高 () 内利益率

単位:百万円

為替(円/\$) 期中平均/期末日	16年度 108円/112円	17年度 111円/106円	前年比	修正 予想比	1/29 修正予想
売上高	17,205	★ 19,498	113%	101%	19,300
営業利益	1,425 (8.3%)	☆ 2,007 (10.3%)	141%	100%	2,000 (10.4%)
経常利益	1,476 (8.6%)	☆ 2,109 (10.8%)	143%	105%	2,000 (10.4%)
当期純利益	1,542 (9.0%)	★ 1,625 (8.3%)	105%	112%	1,450 (7.5%)
配当 ※分割後換算	13円	★ 18円			18円

・地方税分を繰延税金資産に計上
・政策減税による税額控除

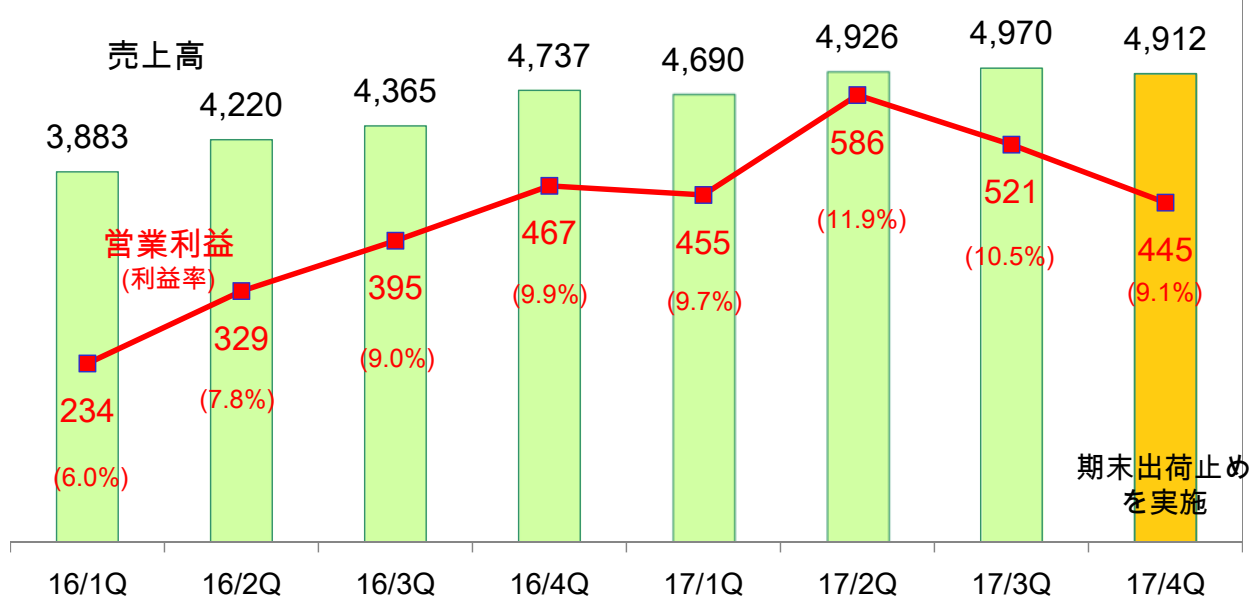
Value by Connecting **HTK**



1-2. 四半期業績推移

売上は高水準で巡航
営業利益(率)は2Qをピークに低下(後述)

単位:百万円



期末出荷止めを実施

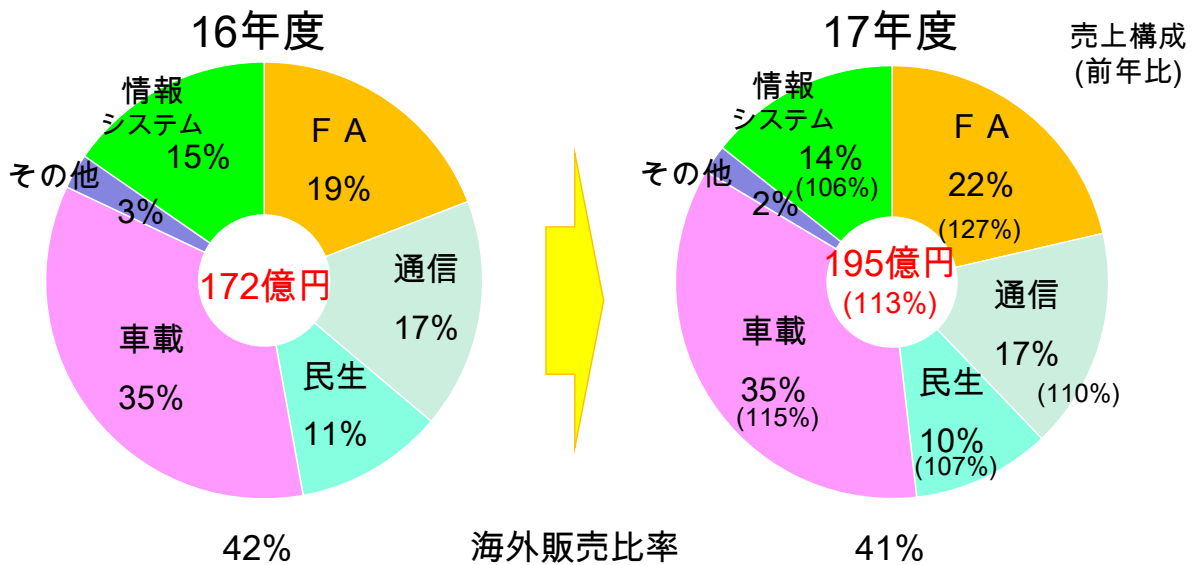
※為替

期中:1\$=108円 102円 109円 114円 111円 111円 113円 108円



2-1. 分野別売上(前年比)

FA・車載を筆頭に全分野で伸長



FA : 旺盛な設備投資で裾野拡大
通信: DC向けメンテ商品が上期健闘
民生: 中国監視カメラ向けが1.5倍増

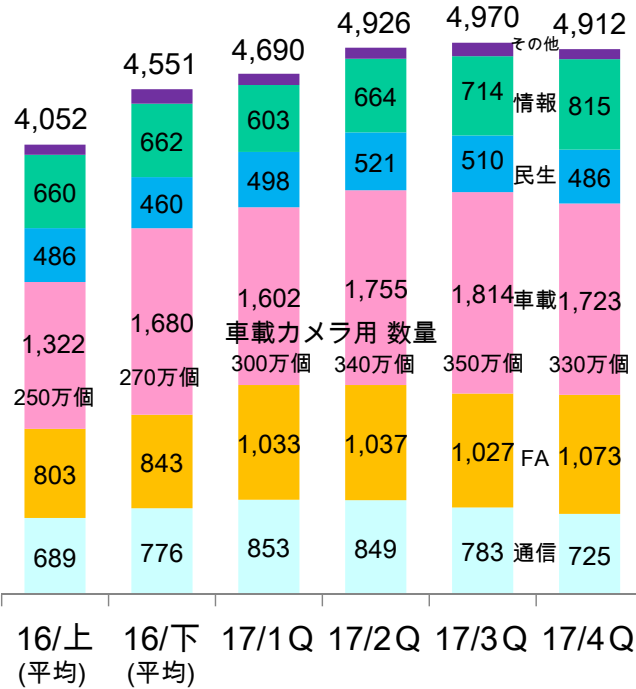
車載: 車載カメラ用が30%数量増
情報: SE不足の中、増収増益



2-2.分野別売上(四半期別)

情報S:四半期ごとに増収、FA:高水準で推移
車載:一時的要因で4Q減収も順調に拡大

単位:百万円



通期 & 4Qの状況

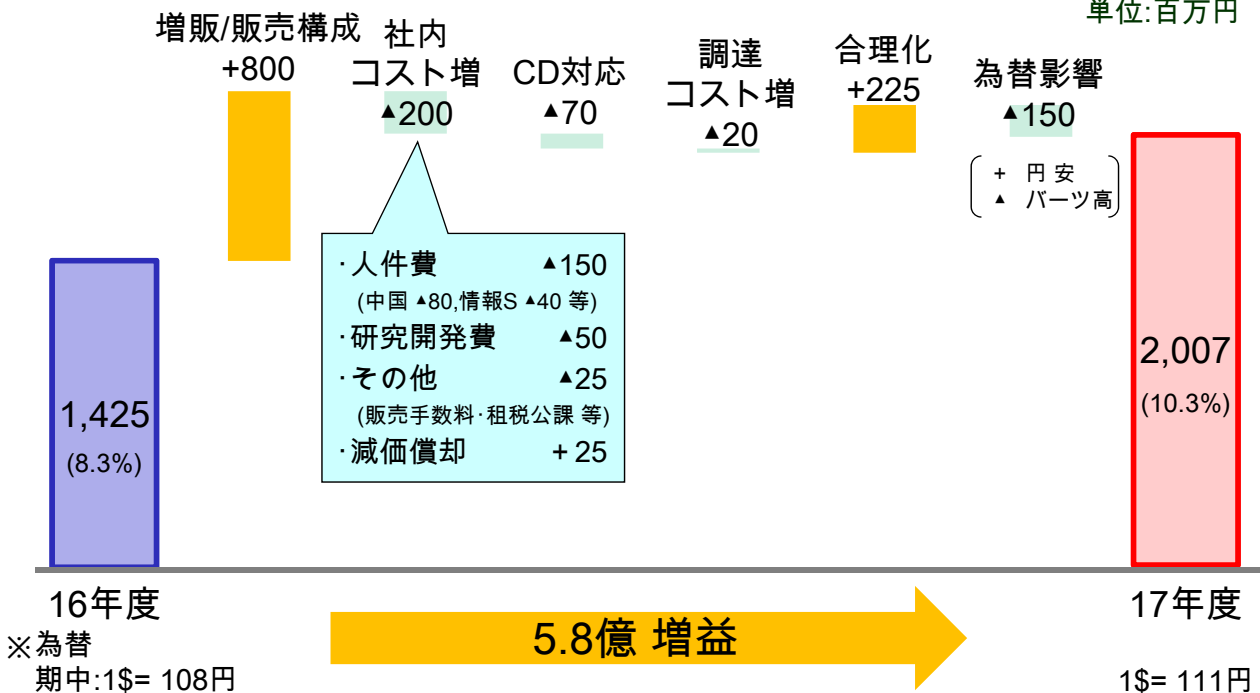
- +14% 旺盛な需要を背景に四半期ごとに増販
4Qは初の8億円を記録
- ▲5% 監視カメラ+ハイエンドDSCで底上げ
4Qは季節要因(春節)で減販
- ▲5% 顧客の拡がりを受け、計画通り増産中
主力顧客の政策増産等の反動で4Q減販
- +4% 16/4Qからの好調を持続
4Qに一部顧客で発注過多→在庫調整
- ▲7% 上期でDC向けメンテ品が一段落
4QはFTTH向けが市場飽和で前年割れ



3-1.営業利益分析(前年比)

“13%の増収と1%の合理化”が諸コストの増を吸収

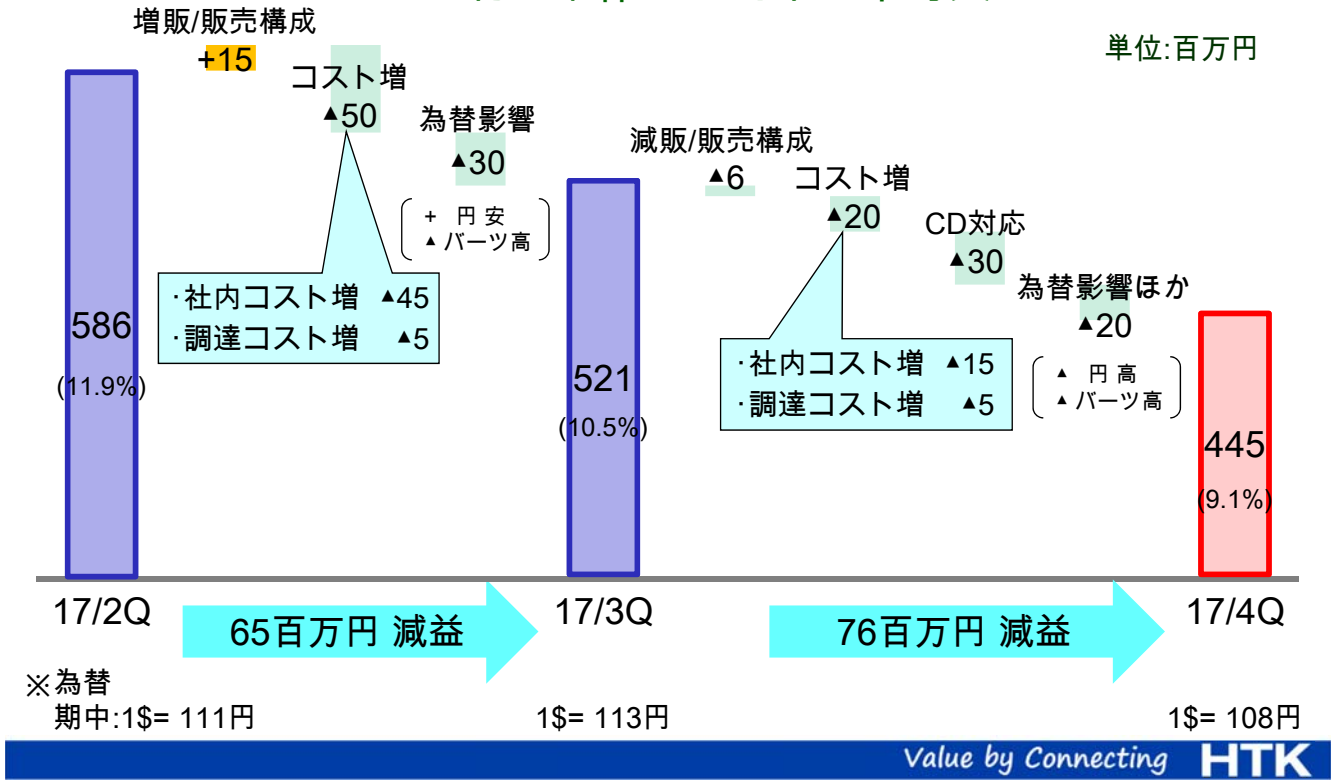
単位:百万円





3-2. 営業利益分析(四半期別)

2Q→4Q:コスト等が+1億円、為替影響により▲0.5億円
→10%利益確保への対策が不可欠



II. Season1 レビュー

ほぼ計画通りで折り返し



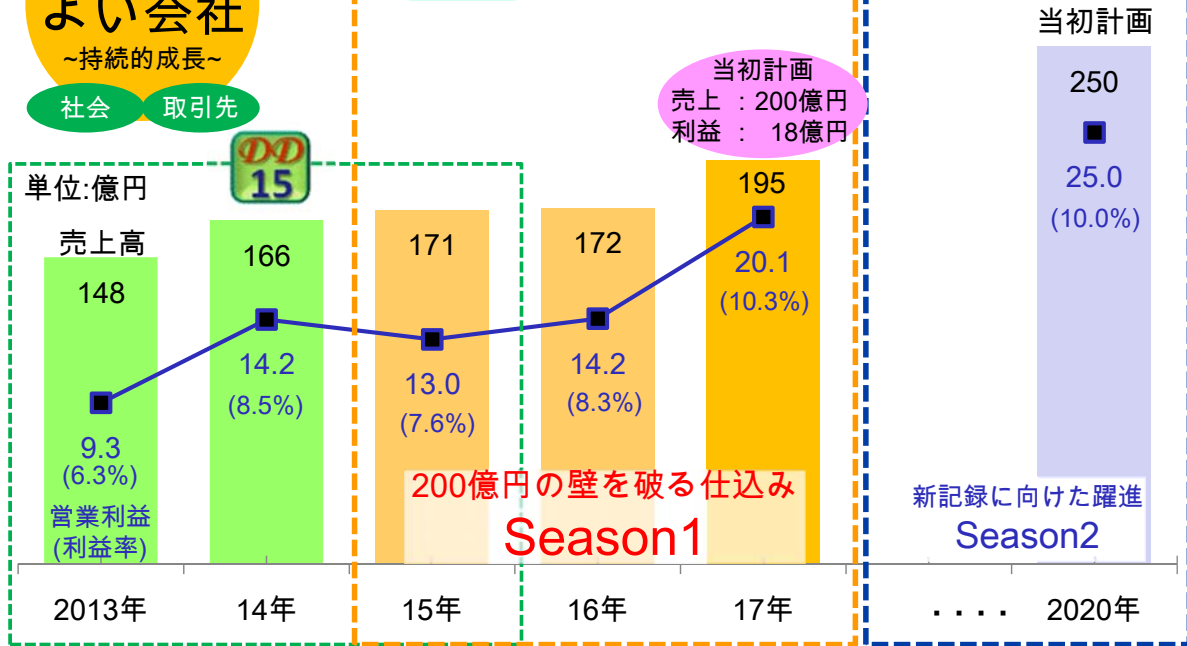
1. Season1の業績推移

ほぼ計画通りで折り返し



よい会社+新記録⇒持続性

売上 250億、利益率 10%、ROE 13%+α



2. 経営目標の達成度(当初計画との比較)

当初計画より円高の中、ほぼ目標を達成
資産効率/CF効率が課題

フェーズ	2014年度	Season1 当初計画	Season1 実績	達成度
売上高	166億円	200億円	195億円	ほぼ
営業利益	14億円 (8.5%)	18億円 (9.0%)	20億円 (10.3%)	◎
純利益	14億円 (8.6%)	14億円 (7.2%)	16億円 (8.3%)	◎
法人税率	11%	22%	23%	
配当性向	17%	27%	27%	○
総資産回転率	1.4回転	1.2回転	1.2回転	△
ROE	18.4%	11.5%	14.2%	◎
CCC	69日	70日	79日	✕
ドル為替レート	110円	115円	111円	



3. よい会社化の進捗状況(14年度との比較)

2014年から着実に進化
一層の信頼と期待を頂けるよう取組みを継続

- ◆平均給与...10%増
- ◆教育費...2.5倍
- ◆先行的働き方改革
 - ・長時間労働対策
 - ・勤務間インターバル
 - ・育休制度の充実
 - ・時間単位有休制度 etc.

- ◆時価総額 170億円 → 約250億円
- ◆配当 10円(分割後) → 18円
- ◆社外取締役 0名 → 2名

- ◆顧客満足度
非常によい:26% → 36%
- ◆1weekデリバリー
500品目 → 1,000品目
- ◆品質クレーム件数
半減

- ◆地域未来投資の選定企業に
- ◆社会貢献活動の拡大



- ◆商慣行の是正を宣言&実行
- ◆支払サイト短縮



III. Season2 経営計画

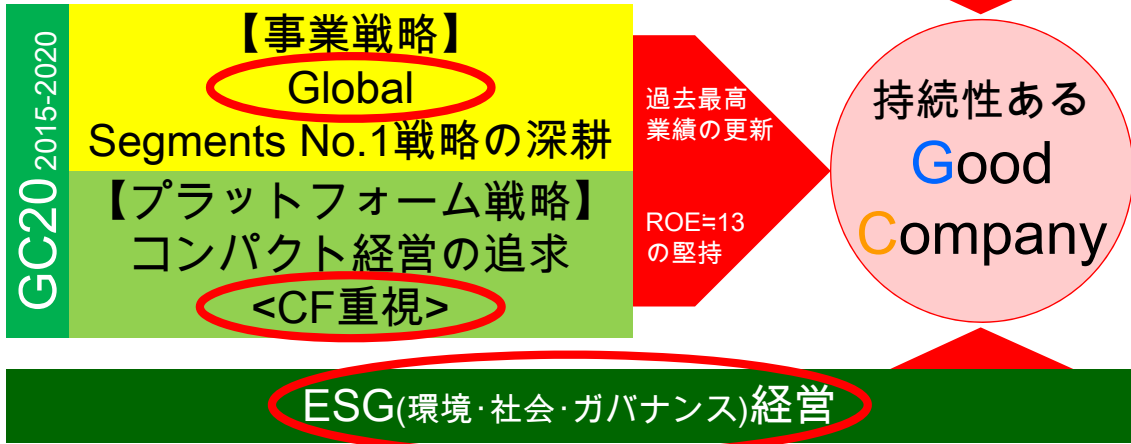
基本方針は不変、目線をあげる



1. Season2の基本コンセプト

基本方針は変えず、計画完遂に向け、進化

グループ企業理念 *Value by Connecting*

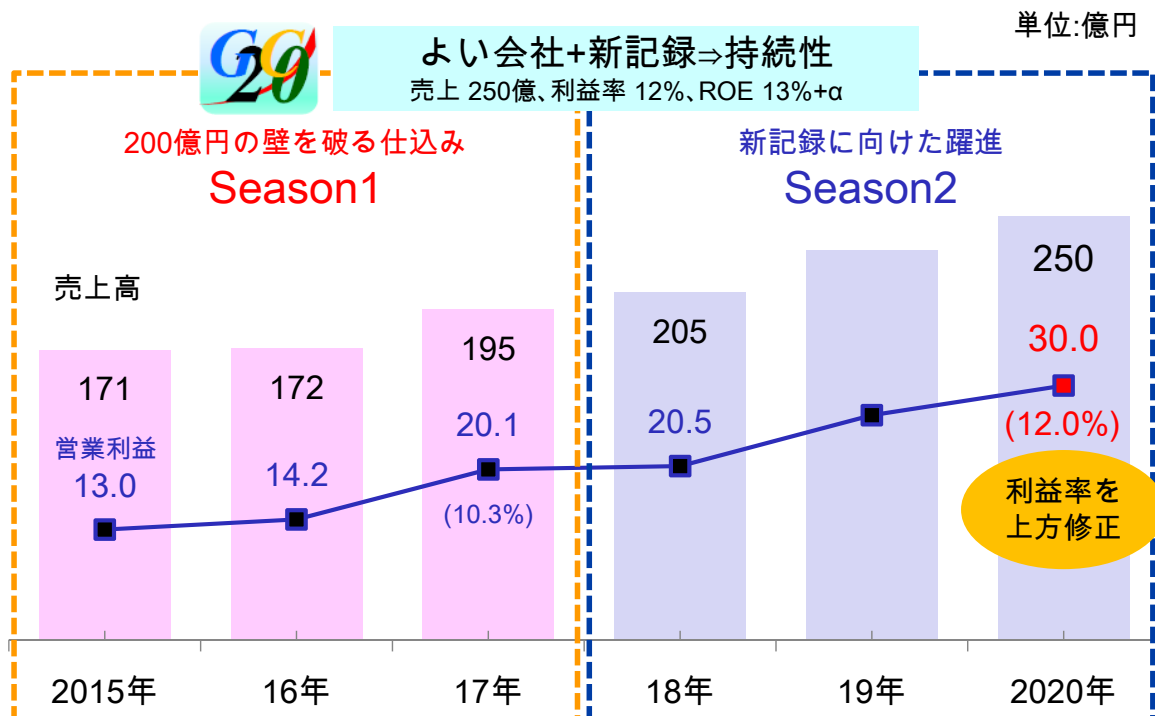


Segments No.1戦略をGlobalに展開
 CFをより重視し、コンパクト経営を深化
 ESGの観点で企業価値向上



2. Season2 売上/利益目標

仕込みのSeason1から躍進のSeason2へ
 業界他社並みの利益率に向けて、目線を上げる





3.躍進に向けた“5つの取組み”

ESG経営をベースに
“事業戦略”、“R&D戦略”、“財務戦略”で企業価値を高める

<p>車載用C</p>	自動運転を睨んで伸ばす	100億円 12%
<p>業務用C</p>	オリジナリティを磨いて稼ぐ	115億円 15%
<p>情報S</p>	Seg1化で収益構造を変える	35億円 10%
<p>R&D戦略</p>	GC20以降に向けた技術開発	新技術
<p>財務戦略</p>	コンパクト経営の深化	生産性 1.5倍

ESG経営



4-1.車載用C:自動運転を睨んで伸ばす

業界トップクラスの実績をベースに

売上高(営業利益率)

14年 45億(8%) ⇒ 17年 69億(9%) ⇒ 20年 100億以上(12%)



製造：供給力/価格競争力の強化⇒自動化、海外新製造拠点の追加
品質力の向上⇒GQMの本格展開(トレーサビリティ&モニタリング)



4-2. 業務用C: オリジナリティを磨いて稼ぐ

拡がる・変わる市場に強み伝いで収益力を強化

売上高(営業利益率)

14年 99億(9%) ⇒ 17年 93億(12%) ⇒ 20年 115億(15%)

自動化/省人化/IoT/AI/ロボットで
拡がるFA市場

カスタム **少ロット**

長期供給 **短納期**

業界特性に応えるオリジナリティで
強み伝い

設計製造 近接 光造形 カセット型

やめない 保証 1week デリバリー 一個流し セル生産 etc.

8K(立体に見える超高精細)で
変わる通信市場

超高速 **大容量**

ノイズ特性 **放熱性**

オリジナリティを生む豊富な実績で
強み伝い

FTTH 産業機械

セキュリティ 通信インフラ PC/AVC etc.

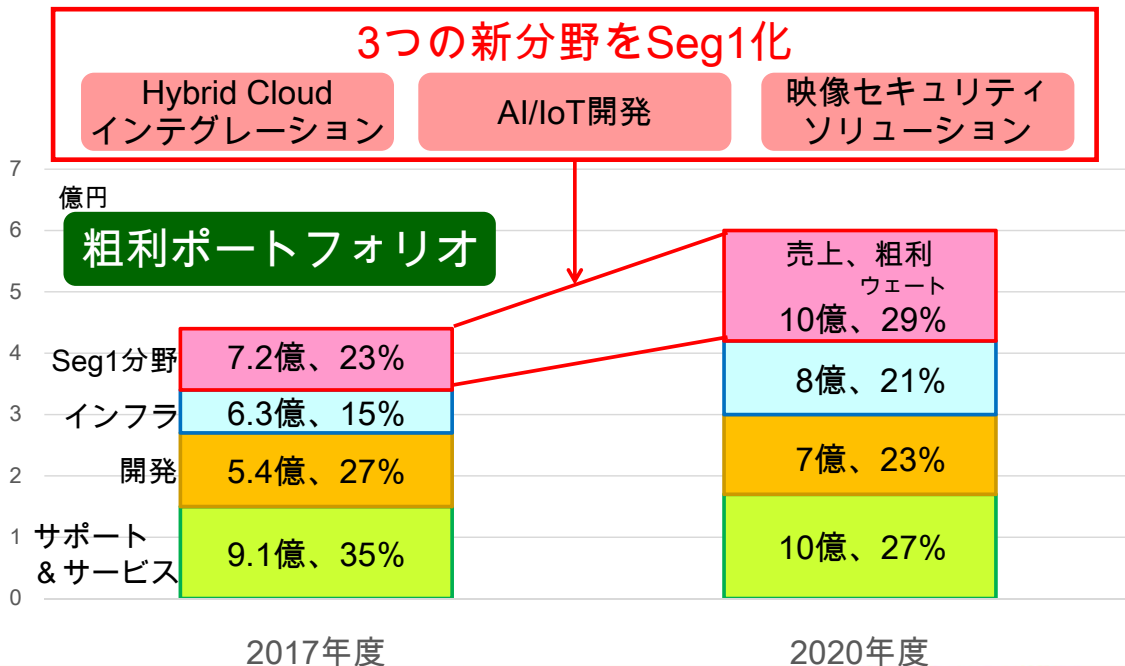


4-3. 情報S: Seg1化で収益構造を変える

新分野の強化で10%利益を狙う

売上高(営業利益率)

14年 22億(5%) ⇒ 17年 28億(7.5%) ⇒ 20年 35億(10%)





5. GC20以降に向けた技術開発

“映像伝送のHTK”に向けて、高速大容量伝送に挑戦

事例
光応用

先端8K装置に

新商品“光コネクション”を提案中
石英タイプ+POFタイプ



高精細の医療機器/FA検査装置など
最先端分野から展開



(c) : PIXTA

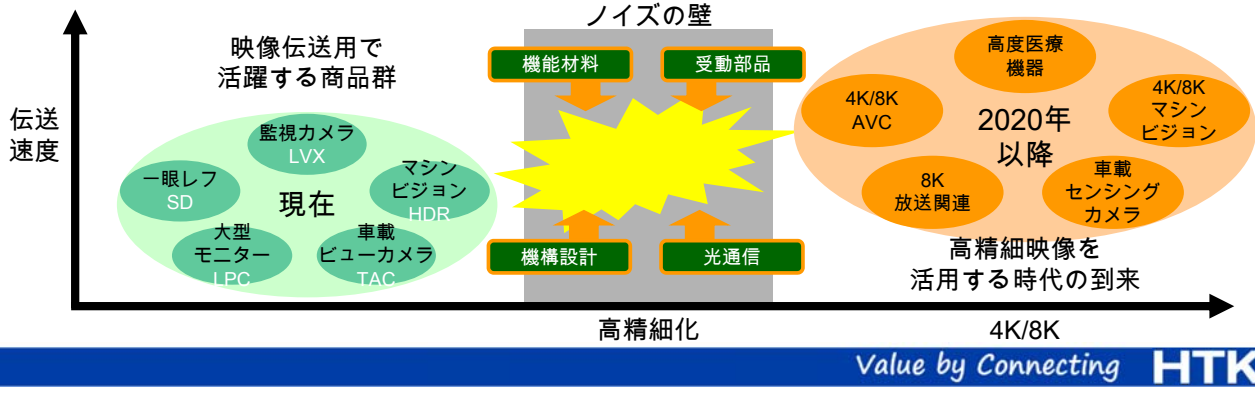
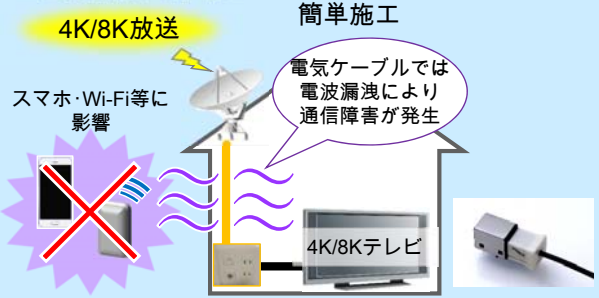
内視鏡



事例
光応用

放送宅内配線の

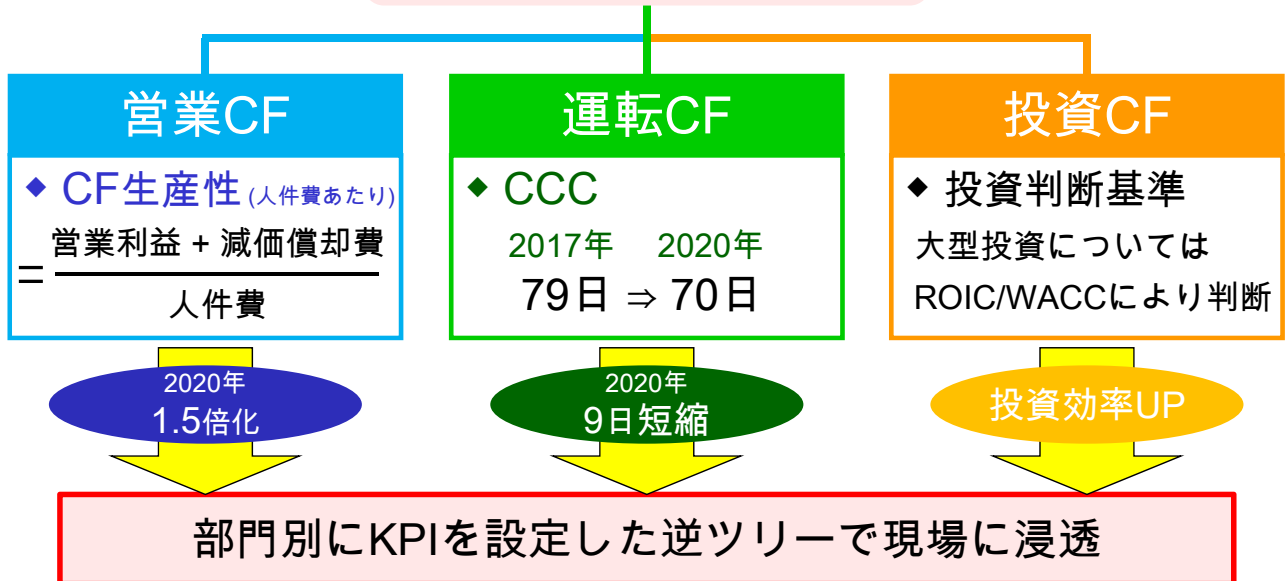
電波漏洩問題にGI-POFを提案中



6-1.コンパクト経営の深化

サプライチェーン全体を最適化しつつ、高回転を目指す

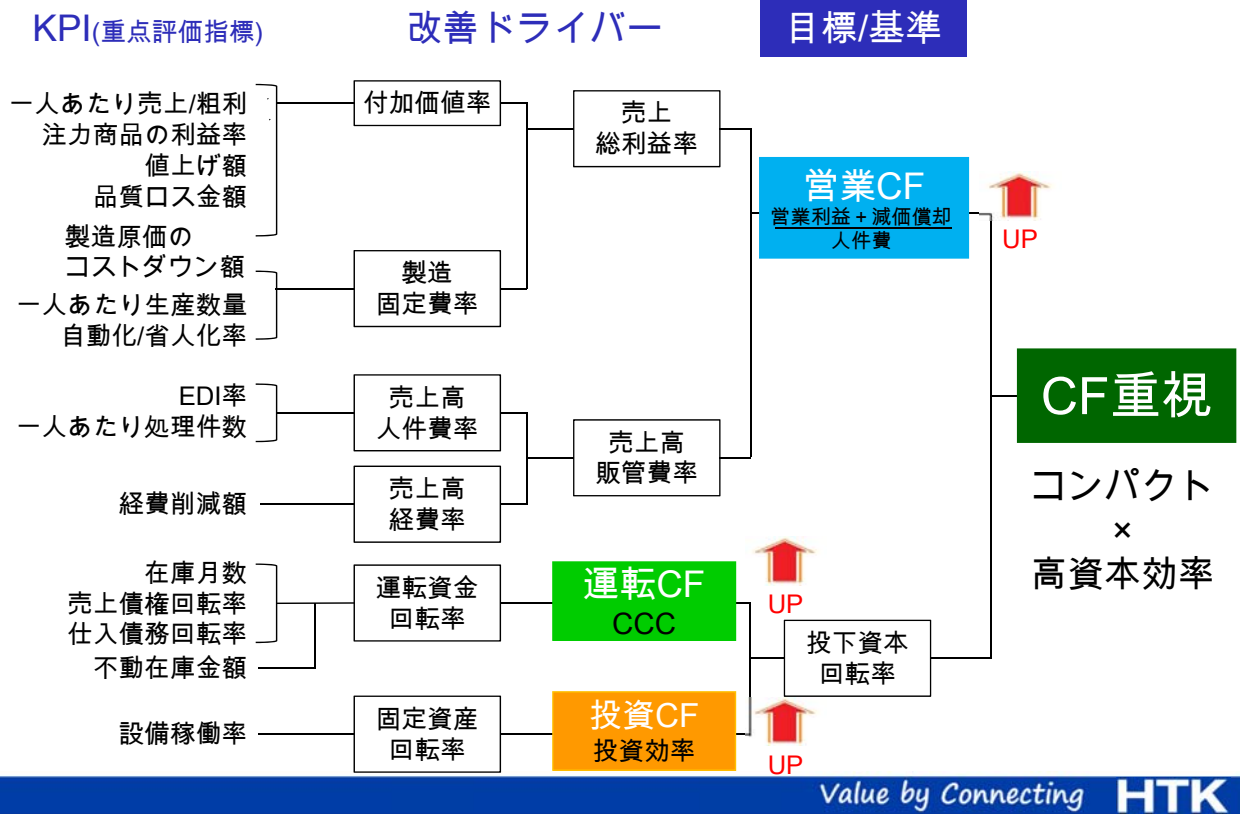
キャッシュフロー重視
コンパクト×高資本効率





6-2. CFを良化させるために

部門/業務にフィットしたKPIを設定

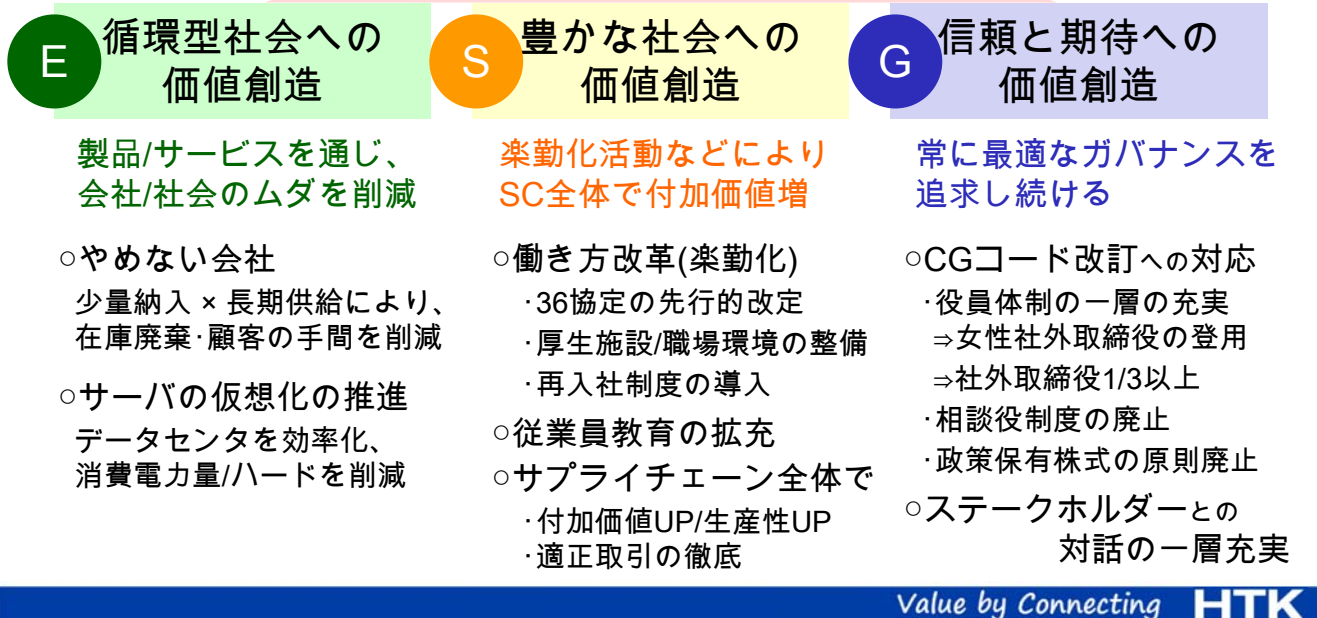


7. 当社のESG活動

ESG経営で持続性を高める 統合報告書を6月発行予定

GC20

売上高 250億、利益率 12%、ROE 13%+α





8. Season2のゴール指標

目線を上げて、自己最高を狙う
同時にコンパクトな経営に拘る

フェーズ	2017年度	Season2 当初計画	Season2 修正計画
売上高	195億円	250億円	★ 250億円
営業利益	20億円 (10.3%)	25億円 (10.0%)	★ 30億円 (12.0%)
純利益	16億円 (8.3%)	20億円 (8.0%)	★ 22億円 (8.8%)
法人税率	23%	22%	25%
配当性向	27%	30%	30%以上
総資産回転率	1.2回転	1.4回転	1.3回転
ROE	14.2%	13%+α	13%+α
CCC	79日	60日	70日
ドル為替レート	111円	115円	110円

Value by Connecting **HTK**



IV. 2018年度 計画

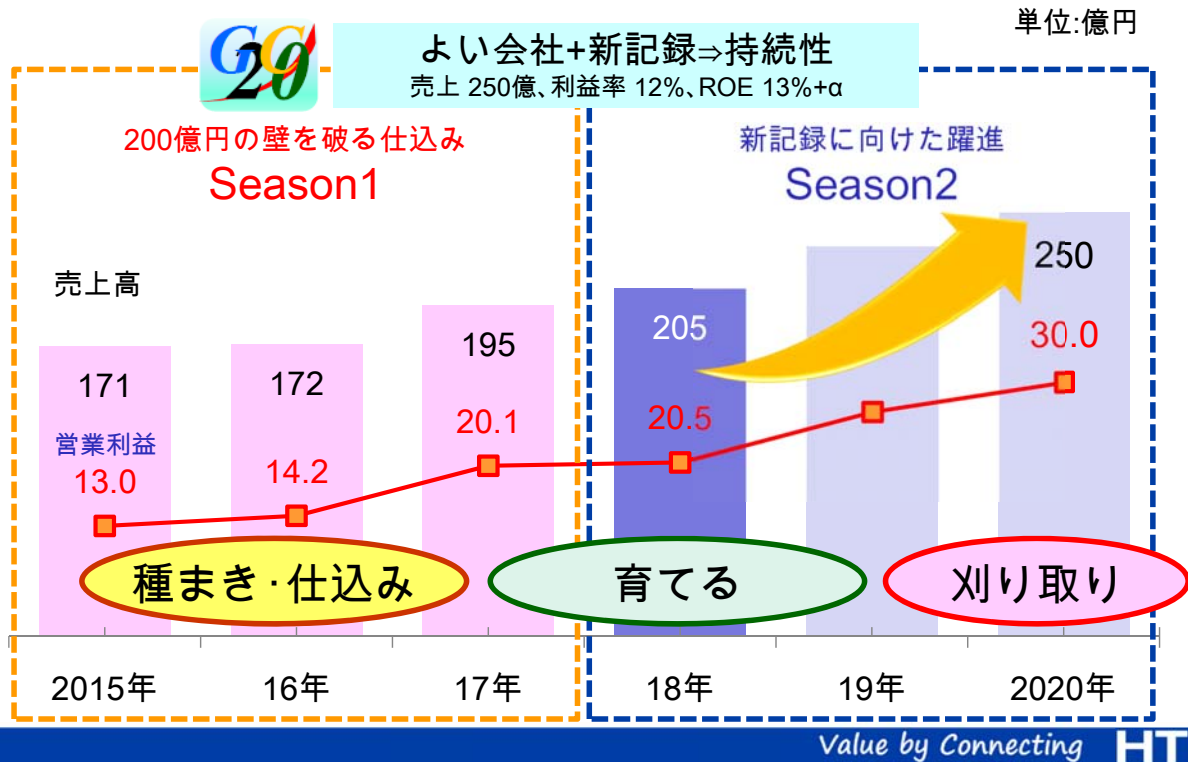
仕込みを育て、Season2のゴールに繋ぐ年

Value by Connecting **HTK**



1. 2018年度の位置づけ

仕込みを育て、Season2のゴールに繋ぐ年
~積極投資を継続~



2. 2018年度 業績予想

投資拡大・コスト増など逆風あるも、10%利益に拘る
10期連続の増配に挑戦

単位:百万円

	17年度 (利益率)	18年度 通期計画	前年比	備考
売上高	19,498	20,500	105%	+ 車載カメラ用の伸長 FAの高水準での推移
営業利益	2,007 (10.3%)	2,050 (10.0%)	102%	+ 合理化 / 増販益 / 価格改定 ▲ 投資拡大・コスト増
経常利益	2,109 (10.8%)	2,050 (10.0%)	97%	
当期利益	1,625 (8.3%)	1,500 (7.3%)	92%	実効税率27%へ ※17年度は税効果により23%
配当	18円	20円	+ 2円	10期連続増配 配当性向 32%

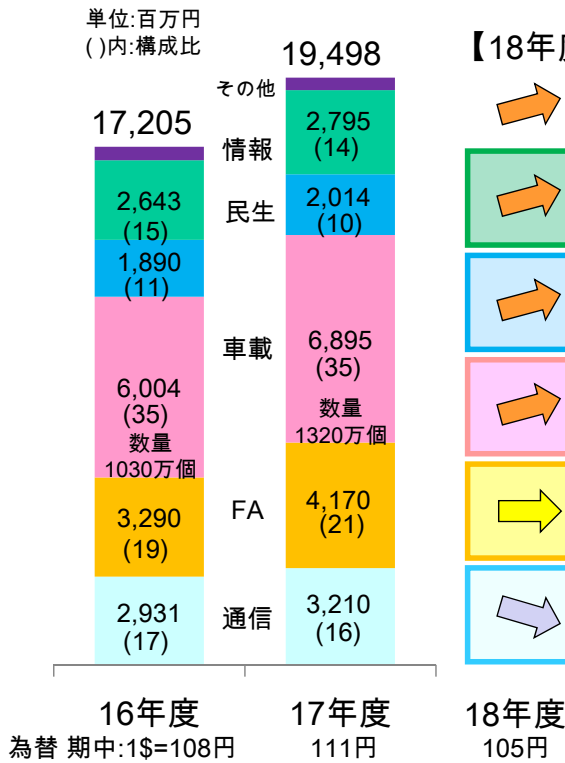
※為替 期中: 1\$=111円
期末: 1\$=106円

1\$=105円
1\$=105円



3.分野別の見通し

市場環境は良好、5%増収を見込む



【18年度見通し】

全体：市場環境は良好 → 5%増収を見込む

需要旺盛、Seg1ビジネスで増収増益BPを含めた人手不足が課題

一眼カメラとPCでSD-UHS-IIの採用拡大
東京オリパラ用大型パネル向けが本格化

車載カメラ用1,600万個へ20%数量増
新顧客/新部位への採用拡大を狙う

スマホ設備減あるも国内外で高位巡航
米中貿易摩擦が懸念材料

FTTH向けが市場飽和で減販
AOCなど光接続の新事業を育成



4.仕込みを育てる積極投資

地域未来投資促進税制を活用、開発/増強/楽勤化へ積極投資

業務用コネクタ事業

- 多品種少量(FA向け)の深耕
 - ・ロボット生産の拡大 **3億円**
 - ・セル生産ラインの構築
 - ・少量生産に適合した光造形金型の導入
 - ・デジタル部品検査システムの導入
- 新事業の創出 (8K対応光コネクション)
 - ・AOCの量産化 **1億円**
 - ・宅内配線への参入

車載用コネクタ事業

- 次世代商品の開発 **1億円**
 - ・次世代デジタルカメラ用の案件獲得 / 量産化対応
 - ・車内ネットワーク向けの商品化
- 製造力の増強 **3.5億円**
 - ・カメラ用コネクタ全自動生産ラインの導入
 - ・新製造拠点の確立
- 品質力の強化 **0.5億円**
 - 品質モニタリングシステムの導入

楽勤化(生産性UP & 働き甲斐/働きやすさ)

- 安曇野厚生棟の建設 **3億円**
- 事務フロアの改装 **3億円**
- 基幹システムの刷新 **3億円**
- 教育投資 **1.5倍**

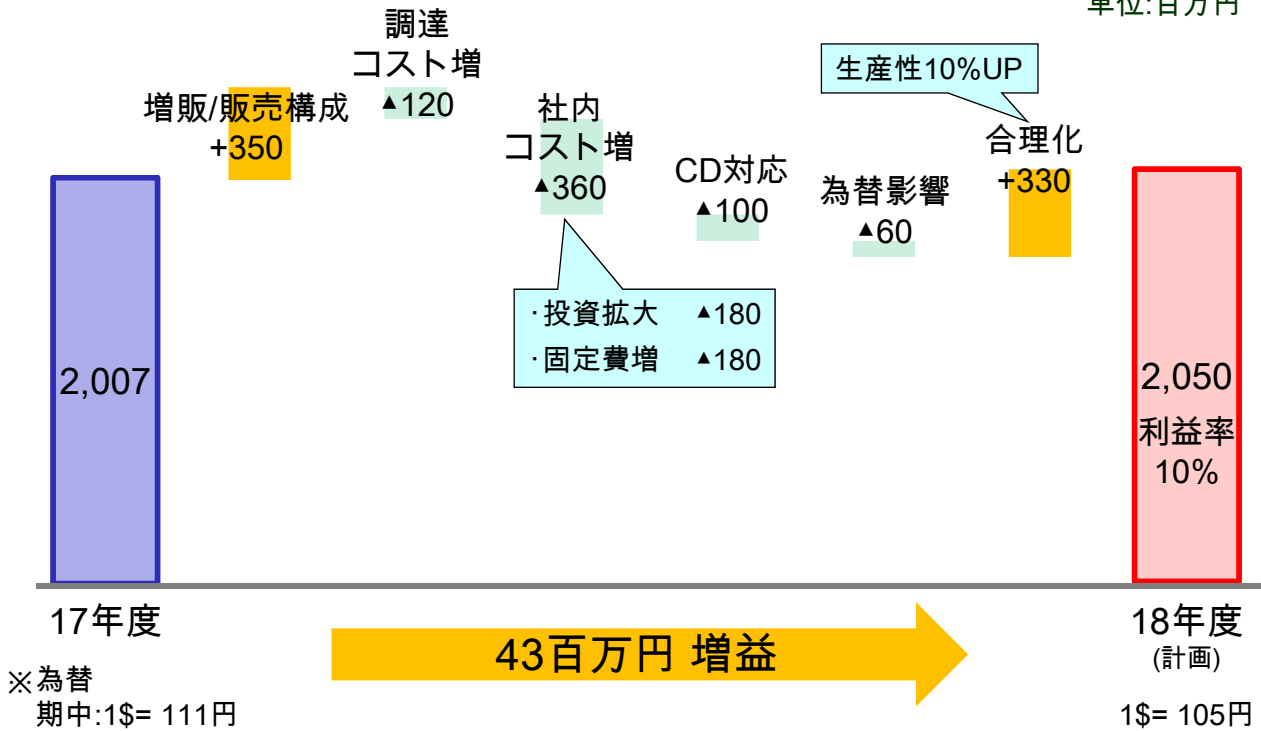
設備投資+研究開発=20億円と過去最高を計画



5-1. 営業利益の見込み

投資拡大、費用増を生産性向上と増販で10%利益に拘る

単位:百万円



5-2. 10%利益の確保に向けて

GC20のゴール目標に向けて、まずは生産性10%UP

デジタル & スマート

生産性(対17年) : 18年1.1倍 ⇒ 19年1.3倍 ⇒ 20年1.5倍 へ

自動化/省人化

- ロボットセルの活用
- 車載自動機の導入
- 多品種少量投資



業務改革

- SAPへの刷新と同期して
- 20,000Hの業務量削減
- 業務品質の向上

先進技術の活用

- IoTを活用した見える化
- GQM/部品検査
- AI外観検査



事業部制の強化

組織改編・業務用事業部の安曇野集結...etc.



HTK

IRに関するお問い合わせ先

本多通信工業株式会社
 経営企画グループ
 TEL : 03-6853-5820
 URL : <http://www.htk-jp.com/>

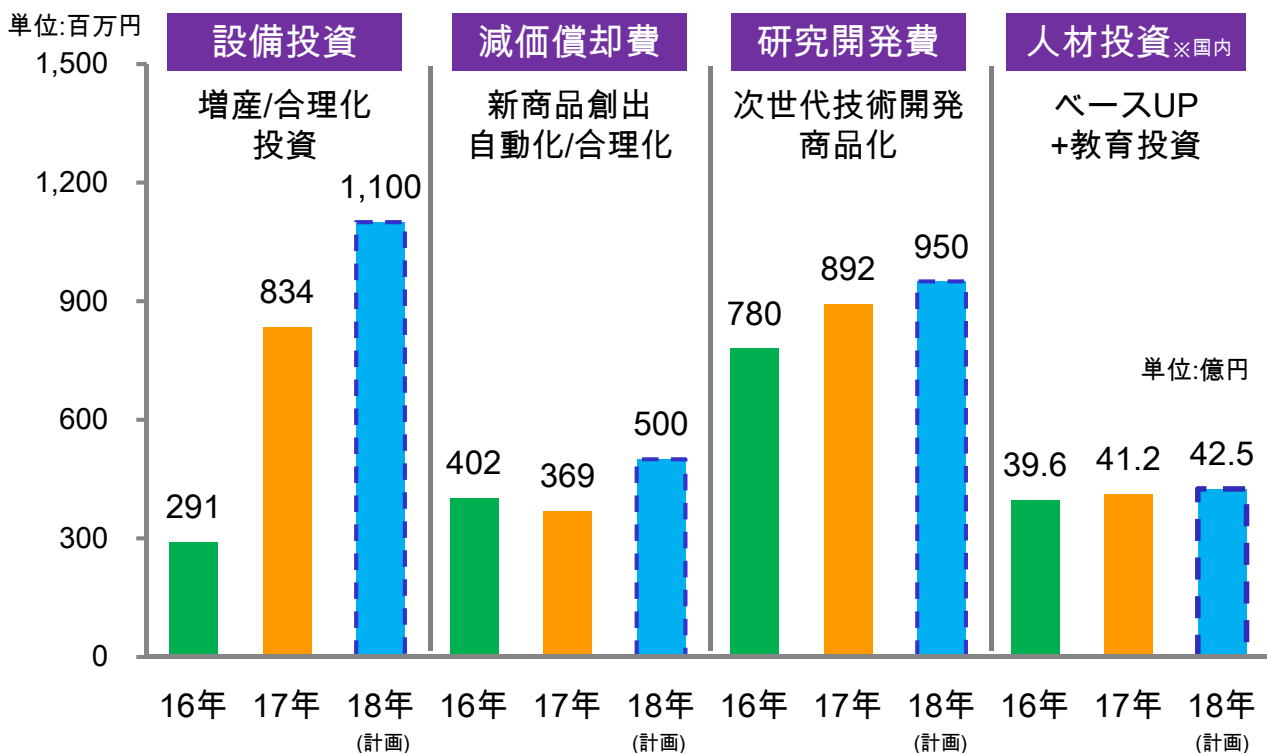
HTK

Value by Connecting **HTK**



参考.投資等の実績・計画

設備/人材等への投資を拡大



Value by Connecting **HTK**



参考.コネクタ事業 連結受注推移

単体受注の業績連動性が低下→連結受注へ変更

17/1Q	17/2Q	17/3Q	17/4Q	年間
-------	-------	-------	-------	----

◆ 連結

前期比	-12	+11	-5	-5	+11
前年平均比	+7	+19	+13	+7	

※実勢為替レートで算出(16/平均 1\$=108円)

1\$= 111円 111円 113円 108円 111円

◆ 単体

前期比	+12	+1	-5	-11	+11
前年平均比	+16	+17	+11	-1	

※社内為替レートで算出(2017年4月から1\$=100→110円に変更)

Value by Connecting **HTK**



HTK

Value by Connecting

つなぐ喜び、創る感動

Value by Connecting **HTK**